

千歳市からのお願い

車道や歩道への雪だしはやめましょう



除雪前に、施設帯や民地の雪を道路に出すと、除雪する雪の量が多くなり、交差点の雪山が高くなるなど、まわりの方の迷惑になります。また、除雪後の雪だしは道路が凹凸になり車や歩行者の通行の妨げになりますので絶対にやめましょう。

路上駐車はやめましょう



路上に車が駐車されていると、除雪することができず作業を中断するため、除雪時間が長くなります。自分1人くらいという気持ちでまわりの迷惑となりますので、路上駐車は絶対にやめましょう。

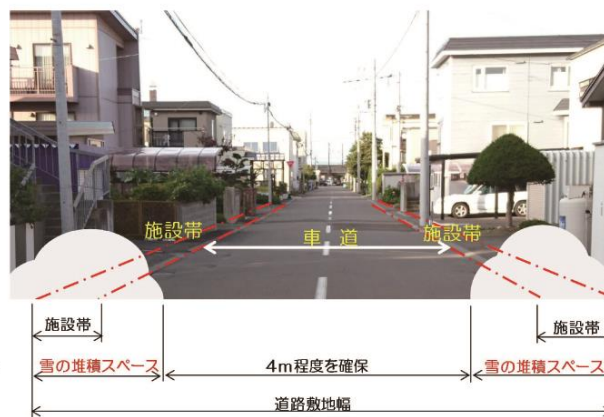
間口の雪処理にご協力をお願いします

大型の機械で除雪を行うため、各家庭の出入り口には、雪が残ってしまいます。市民のみなさまのご協力をお願いします。

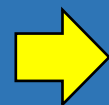


施設帯の雪の堆積にご理解とご協力をお願いします

生活道路の施設帯は、道路の雪を堆積する場所です。



ニュースレターに関するお問い合わせ先



千歳市役所建設部道路管理課 TEL:24-3131
千歳市環境整備事業協同組合 TEL:24-1377

除排雪に関する情報



千歳市LINE公式アカウントで除雪情報を提供いたします。

除雪車の位置情報が確認できるようになりました。

URL https://www.chitose-josetsu.jp/josetsugps/imadoko/top_chitose/



※画像はイメージです

千歳 除雪に関する

ワークショップ便り

2023年号

発行:令和5年 11月

作成:千歳市 道路管理課

「除雪地域懇談会」を開催しました!



懇談会の目的は?

地域のみなさんや除雪業者、市が協力し合い、より良い冬の生活環境を目指すため、ワークショップ形式により話し合いを行い、地域における「除排雪の課題」や「新しい提案」を基に除雪マップを作成し、今後の除雪作業の参考にすることを目的としています。

どんな内容の懇談会になったの?

千歳市の気象状況や除雪体制、除雪方法を基に、各町内会の地図に、実際に生活する上での地域の問題点や良かった点を話し合い、それらの情報を地図にまとめました。

懇談会の結果をどう活用するの?

作成した除雪マップを地域のみなさん、除雪業者、市の三者で情報共有するとともに、今後の除雪作業の参考とすることで、地域における生活環境の向上を目指します。なお、除雪マップについては、除雪従事者の交代に伴う引継ぎの際などに利用していきます。



「千歳市 除雪地域懇談会(鉄東方面・祝梅方面ブロック)」

開催日時: 令和5年 5月17日(水)
18時30分 ~ 20時30分

会場: 千歳市防災学習交流センター そなえーる

出席者: 地域の皆さん 22名
千歳市職員 9名
千歳市環境整備事業協同組合 5名
除雪ブロック担当責任者 2名

※1 ワークショップとは
いろいろな立場、考え方の人がひとつの作業の共通体験を通じて意見を交換し、その意見を「共有する、認める、理解する」ことを通じて、問題や課題への対応の方向性を見出す「体験・参加型」の会議などのことをいいます。

できあがった町内マップは裏面へ
(裏面の地図を参照)



住吉2丁目町内会、住吉5丁目町内会 除雪マップ

- 凡例
- 交差点の雪山
 - ゴミステーション
 - マンホール
 - 堆雪、雪山
 - ザクザク路面
 - ツルツル路面
 - 公園
 - 空地
 - 良かった点
 - 課題
 - 提案
 - 通学路
 - その他

住吉2丁目、住吉5丁目町内会の重要課題

- 除雪が遅い
- 雪山が高い

自主的な除雪

ゴミステーションの前は自分たちで除雪することで、地域の利便性を確保している。

防衛の土地

防衛と協議をして、堆積場にしたほうがいいのか。

除雪が遅い

除雪が来るのがとても遅いと感じている。

フェンスの破損

除雪によって公園のフェンスが破損することが多い

中央分離帯の雪山が高い

中央分離帯の切れ目に雪山が高く置かれているので曲がりにくい。

路上駐車が多い

路上駐車が多くて除雪の妨げになっている

対応策

路上駐車対策のピラがあるのでそれを市役所からもらって、周知することで、対策を行いたいと思う。

今後の千歳市の取り組み

- 「除雪が遅い」への対応

異常降雪時に、生活道路の除雪は、先に車1台通行出来るよう除雪し、その後、玄関や車庫付近の間口の処理を行います。また、昨年度から、ホームページにて除雪状況をリアルタイムで見ることができます。除雪が終わった路線が着色されているため、次にどの路線を除雪するかおおよそ予測することができます。

- 交差点の見通し確保

除雪作業時から雪山の高さを抑えるよう実施し、必要に応じて2次作業を行うことにより見通しの確保に努め、交通の円滑化と安全性の向上を図ります。特に、幹線道路と生活道路の交差点付近では、生活道路側から見て、右側の雪山を低くするよう努めます。

いただいたご意見や提案を参考に、今後も地域力を活かした雪対策を進め、冬季の生活環境向上に取り組んでいきます。

